

都市を数値化しイベントを計画 ～学生が校内の魅力を静岡駅周辺へつなぐ～



静岡市都市局都市計画部市街地整備課

1.はじめに

公共空間は禁止であふれている！

まち一番の大地主である市が
禁止にしているのってどうなの？



使い方を見直す必要がある！



2.参考

今回のプロジェクトを始めるにあたり豊田市の事例を参考にさせていただきました。



H27年「あそべるとよたプロジェクト」始動

- ・行政は公共空間（道路・公園・広場等）を開放する
- ・使いたい市民が手弁当で使う
- ・使う人も楽しい、見てる人も楽しい
- ・見てた人が使う人に早変わり
- ・色んな人がつながってますます楽しくなる

7

参考：R4国交省主催アーバニストスクール資料より抜粋

3.プロジェクト内容

学生が校内の魅力をまちへとつなぐ?

題して、Hu部(b)!

～第1弾 校内の魅力を静岡駅周辺へつなぐ～

目的

現在

学生にイベントのコンテンツを∞の選択肢から考えて、イベントを企画



今後

学生にイベントのコンテンツを限定した選択肢の範囲でイベントを企画

4.活動事例

Case 吹奏楽部



ストリートピアノは公共空間で演奏していいのに、私たちの楽器はダメなの？

吹いちゃいましょう！何なら現地でできるようにプロデュースします！



吹奏楽部は、現地での音楽活動機会をGET！

5.日程

本来の日程

駅前
の把握
魅力の発見
1か月



出演交渉
実施計画
2か月



行政手続
2か月



イベント実施
行政に報告
1か月

- ・広場の利活用データ調査
- ・校内のコンテンツを探す

- ・コンテンツに出演交渉
- ・イベントの企画書作成

- ・交通規制の手続
- ・使用許可の手続

行政がデータ調査を
サポート

行政がデータ調査を
サポート

今年度の日程

1月15日(月)

企画説明
データ調査
魅力の発見



1月29日(月)

静岡駅周辺
街歩き



2月19,26日(月)

企画書
発表資料
作成



3月4日(月)

企画発表会

- ・GoogleEarthでデータ調査
- ・ワークシートで魅力発見

- ・1時間街歩き
- ・企画名決定

- ・資料等を参考に作成
- ・発表練習も実施予定

- ・1グループ10分の発表
- ・校長先生、市職員が講評

6.第1回目の報告

イベントのターゲット選定の時に都市を可視化して考えることを説明



静岡市移住サイト

